

2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【英語科】 【英語コミュニケーションⅡ】	2年	2単位	教科書	All Aboard English Communication Ⅱ	副教材等	All Aboard English Communication Ⅱ ワークブック	履修対象・ 使用教室 等	2年アクティブ 各HR教室	
教科・ 科目 の 目標	(1) 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 (2) 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 (3) 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 (4) 言語や運用についての知識を身に付け、背景にある文化を理解することができる。									
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	各レッスンにおける単語や文法項目の知識を習得し、 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことができる。			各レッスンにおける世界中のあらゆる物事に対して、 自分の考えを伝えることができる。			各レッスンにおける世界中のあらゆる物事に対して、 自ら調べて理解しようとしている。			
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。									
評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	小テスト・単元テスト		各レッスン終了ごとにその内容に合わせて実施（6回）			60		60		20
	提出物		各レッスン終了ごとにワークブックを提出（6回）			20		20		40
	授業態度・振り返り		各レッスン終了ごとにロイロノートに提出（6回）			20		20		40
	〔観点別配分％〕		（3観点の比重を％で示しています）							
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名		配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度	
4 5	Lesson 1 National Holidays and Events	11	・世界の祭り ・日本の様々な祝日や行事を知る。 ・イタリアとフィリピンの祭りに関する発表について読み、その特徴や 共通点を学び、理解して表現することができる。	小テスト・単元テスト		◎	○	○		
				提出物		○	○	◎		
				授業態度・振り返り		○	○	◎		
6 7	Lesson 2 Dancing with Freedom	12	・自分を表現すること ・ダンサーの菅原小春さんについて読み、世界で活躍するまでの 道のりについて学び、理解して表現することができる。	小テスト・単元テスト		◎	○	○		
				提出物		○	○	◎		
				授業態度・振り返り		○	○	◎		
8 9	Lesson 3 The spirit of the Forest	11	・森の精霊 ヤマネ ・天然記念物で日本固有種であるヤマネと、その生息環境について 学び、理解して表現することができる。	小テスト・単元テスト		◎	○	○		
				提出物		○	○	◎		
				授業態度・振り返り		○	○	◎		
10 11	Lesson 4 Living with Robots	13	・ロボットと築く未来 ・科学技術発達の例としてロボットについて読み、未来の生活について 考え、理解して表現することができる。	小テスト・単元テスト		◎	○	○		
				提出物		○	○	◎		
				授業態度・振り返り		○	○	◎		
12 1	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	11	・歌舞伎メイク物語 ・日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学び、理解して表現 することができる。	小テスト・単元テスト		◎	○	○		
				提出物		○	○	◎		
				授業態度・振り返り		○	○	◎		
2 3	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	12	・世界遺産のグレートバリアリーフ ・世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して、 それが直面する問題について学び、理解して表現することができる。	小テスト・単元テスト		◎	○	○		
				提出物		○	○	◎		
				授業態度・振り返り		○	○	◎		
学習の アドバイス	・母語と違う言語を学ぶので、「知らない」ことは当たり前です。ただし、「知らないまま」にするのではなく、「知ろうとする」、あるいは「学ぼうとする」心構えを大切にしてください。 ・英語は「言語」ですので、使えば使うほど上達します。ミスすることを恐れず、積極的に活動しましょう。 ・日々の授業を大切に受け、予習→授業→復習の学習サイクルを身に付けてください。 ・課題の提出期限は必ず守ってください。いかなる理由があろうとも、提出期限を過ぎる課題提出は認めません。 ・欠席した場合はその分の板書事項や解答などを友人に見せてもらい、欠席分の学習の遅れを取り戻すようにしましょう。									